



■ 思い出は自分たちでつくる

修学旅行がいよいよ近づいてきました。

少しずつ意識も向いてきているのでしょうか。もう四半世紀も前のことなので、自分の修学旅行で「どこへ行った」「何を見た」といったことはほとんど覚えていません。ただ一つ鮮明に覚えているのは、クラスの友人がギターを持ってきて、バスの中でみんなで歌ったことです。(ちなみに、その当時から唯一無二だった彼は、今では某新聞社の報道カメラマンとして世界中で活躍しています。)

修学旅行では、「どこへ行った」「何をした」以上に、「これは一生忘れたくない」と思える何かに出会ってほしいと願っています。修学旅行は、日々の学びをいったん胸にしまい、仲間と新しい景色に出会う旅です。そして、その旅の楽しさは誰かが勝手につくってくれるものではありません。自分たちでつくるからこそ、本物になります。人前に立つ人を冷ややかに見たり、誰かの挑戦を笑ったりする空気がどこかにありますか…？ クラスの企画や学年レクリエーションでは、ぜひ「見る側」ではなく「つくる側」「盛り上げる側」になってほしいと思います。「みんなを楽しませたい」「仲間を笑わせたい」「最高の思い出をつくりたい」そんなまっすぐな気持ちを、学年の先生方から歓迎します。修学旅行が、皆さん一人ひとりにとって忘れられない旅になることを願っています。

■ 大学見学会 80期生の感想より

大学生・院生の体験から大学や受験をより身近なものとして捉え、今後の進路選択や学習への意欲向上につながる機会となったのではないのでしょうか。文理で会場が異なったため、皆さんの感想をお借りして、聴いたことを共有します。

【文系会場】

① 学校の授業を大切にする

- ・学校の授業をしっかりと理解することが受験の土台になる
- ・塾はあくまで補助であり学校の学習が中心
- ・授業中にできるだけ多くを吸収する
- ・わからないところを放置せず、質問する

② 毎日の積み重ねが重要

- ・毎日少しでも学習する習慣をつくる
- ・時間よりも学習の質を意識する
- ・復習を継続する
- ・隙間時間を有効活用する

③ 進路は興味や夢から逆算して考える

- ・将来の夢や目標から逆算して考える
 - ・今の学力だけで進路を決めない
 - ・視野を広く持つ
 - ・やりたいことを軸に進路を選ぶ
- また、「大学でやりたいことを見つけるために進学するという考え方もある」という言葉が印象に残った生徒もいました。

④ 学部・大学についてよく調べる

- ・学部名だけで判断しない
 - ・オープンキャンパスに参加する
 - ・大学ごとの特色を調べる
 - ・本当に学びたい内容が学べるのか確認することの大切さを実感していました。
- 「法学部で経済学を学べる」「大学によって学びの内容が異なる」など、大学での学びの幅広さに驚く感想も見られました。

⑤ 自分で考え、自律して学ぶ

- ・塾に頼りきりにならない
- ・自学自習の力をつける
- ・自分の学習状況を把握する
- ・計画を立てて学習する

⑥ 部活動との両立と挑戦する姿勢

- ・部活動を続けながら勉強することは可能
- ・勉強と部活の両立が大切

- ・諦めずに挑戦する
- ・まずは行動してみる

「底をついたからあとは上がるだけ」「目の前にこのことに本気で取り組む」といった言葉に勇気づけられた声もありました。

【理系会場】

① 計画的に学習することの大切さ

最も多く見られたのは、勉強の計画の立て方に関する学びでした。

- ・1日単位ではなく、1週間・1か月単位で計画を立てる
- ・長期的な目標から逆算して学習を進める
- ・計画を定期的に見直し、修正する

② 毎日の積み重ねと学習習慣

こちらも、「結局は継続が大切」という気づきも非常に多く見られ、日常的な学習習慣を身につけることへの意識が高まった様子がかがえました。

③ 暗記科目は早めに取り組む

- ・英単語などの暗記事項は早く始める
- ・2年生のうちに基礎固めを進める
- ・高3では演習や応用問題に時間を使えるようにする

暗記を先送りにせず、早期から着手することの重要性を理解した生徒が多かったようです。

④ メリハリと自己管理

- ・勉強と休息のメリハリをつける
- ・自分の機嫌やモチベーションを管理する
- ・模試や成績に一喜一憂しすぎない
- ・睡眠や生活習慣を整える

といった、学力だけでなく自己管理能力の大切さへの気づきが見られました。

⑤ 進路研究と大学選び

- ・大学や学部について早くから調べる
- ・自分の興味や将来の目標と結びつける
- ・学部名だけで判断せず、学べる内容や研究内容を見る
- ・入試方式や配点も調べる

など、進路選択には主体的な情報収集が欠かせないことを学んだようです。

⑥ 受験への向き合い方

- ・定期テストを大切にする
- ・校内順位を一つの目標にする
- ・参考書は何冊も買うより、一冊をやり込む
- ・志望校を下げるのではなく実力を上げる
- ・最後まで諦めない

といった受験に向かう姿勢についての学びが多く見られました。

⑦ 卒業生の体験談から得た刺激

- ・実際の勉強量や成績の話
- ・部活動との両立
- ・受験期の過ごし方
- ・大学生活の様子

など卒業生の体験が、生徒たちにとって「自分にもできるかもしれない」という具体的なイメージにつながっていました。

普段から聞いていることと同じ内容かもしれませんが、大事なことは何度言ってもいい。「ささる」にはいいタイミングです。課題や小テストの積み重ねや、10月までの期間でのプチベテスト②、前期期末考査、ハイレベル模試という負荷をうまく使いながら、しっかり成長していきましょう。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

7月

- 8日(水)～懇談期間・午前授業
- 16日(木) 各種アンケート chromebook 要 哲学講演会
- 17日(金) 授業、大掃除、全校集会
キャリア教育講演会
(本校卒業生・京都大学教授)

8月

- 20日(木) 全校集会・大掃除・授業再開
B金1・B木4
- 21日(金) プチベ②+B金2・B金3
- 27日(木) 午前授業/SSH 探究Ⅱ 中間発表会